

1 “人づくり”と“まちづくり”の好循環を生み出す

1-1 グローカル人財育成PJ

■ 取組みの目標

- ・子どもたちに「いわき」をより深く知ってもらうことで、郷土愛を育み、将来的にいわきで働く選択をすることを促進します。
- ・いわきの子どもたちの学力を高めるとともに、問題解決力やコミュニケーション力、変化に対応する力を育むためのキャリア教育を充実することで、次世代をリードする人財を育成し、地域の競争力を強化します。
- ・Society5.0に対応した、新たな時代を豊かに生き抜く力を育成します。
- ・教育を通じた人財還流の仕組みをつくとともに、地域全体で教育を支える仕組みをつくりまします。

■ 事業主体

県、市、NPO、大学、高専、商工団体、市内外企業等

■ 構成する施策

① 地域への愛着・誇りの醸成

地域の歴史や文化・産業・自然等について学ぶ機会を設け、いわきへの愛着や誇りを育みます。

② キャリア教育の更なる充実

生徒会サミットやいわき志塾、いわきアカデミアなど、キャリア教育に関する取組みを継続・強化するとともに、切れ目ない教育機会の提供を図るため、社会人を対象とした取組みを拡大します。また、課題を見つけ解決に導くための思考力やコミュニケーション力などを育み、社会に求められ活躍できる質の高い人財を育成します。

③ Society5.0に向けた人財の育成

ICTやAIなど新しい技術を活用できる能力と、柔軟性や創造力など新しい社会に適応できる能力を養い、Society5.0を牽引する人財を育成します。

④ グローカル人財の育成

世界を舞台とする競争と共生の時代において、語学力はもちろん、主体性や積極性、柔軟性や協調性といった能力や、異文化に対する理解と「いわき人」としてのアイデンティティを持ち合わせた、グローバル人財の育成に取り組みます。

⑤ 学びのセーフティネットと人財還流の仕組みの構築

意欲と能力のある学生等が経済的理由により教育・社会経験の機会を失うことがないよう、より効果的な人財還流の仕組みを構築します。

⑥ 地域の担い手育成

いわきで暮らし、働く、次代の地域社会を担う人財を、学校・家庭・地域が連携して育成します。

■ SDGs



■ スケジュール

| 項目 | R3 | R4 | R5 | R6 | R7 |
|-------------------------|------------------------|----|----|----|----|
| 地域への愛着・誇りの醸成 | 地域を学ぶ機会の提供・充実 | | | | |
| キャリア教育の更なる充実 | 社会人向けキャリア教育プログラムの構築・実施 | | | | |
| Society5.0に向けた人財の育成 | ICT等利活用能力の向上 | | | | |
| グローバル人財の育成 | 地域が支える留学支援制度の構築・実施 | | | | |
| 学びのセーフティネットと人財還流の仕組みの構築 | 人材還流に向けた取組みの推進 | | | | |
| 地域の担い手育成 | 学校と地域が連携した取組みの推進・拡大 | | | | |

| KPI | 現状値 | | 目標値 | |
|---------------------------|---|-----------------|------------|------------|
| | 全国学力・学習状況調査結果に基づく正答率 (国の平均正答率を100としたときの本市の平均正答率) | 小学校国語 103.4 | 小学校算数 99.1 | 中学校国語 98.9 |
| | 中学校英語 92.9 | (2019年) | 小学校国語 104 | 小学校算数 100 |
| | | | 中学校国語 100 | 中学校数学 100 |
| | | | 中学校英語 100 | |
| 市内高校生の地元就職率 | 73.3% | (2020年3月) | 75% | |
| 奨学金返還支援制度の当初認定者数 | 45人/年 | (2017~2019年度平均) | 50人/年 | |
| 学校・家庭・地域 パートナーシップ事業実施数 | 26件 | (2020年度) | 35件 | |